

縁をつかむ 運をつかむ

すべては「素直な行動」から



高校3年生、サトシ

サトシは次男坊の友人で、小学生の時から付き合い。

オルク第1期生でもある。

(オルクORC：オチコボレ・リハビリテーション・センター ボランティア塾)

当時、確かに勉強はできなかった・・・

しかしサトシは「人に好かれる」ものを持っている。

気の利いた言葉は言えないが、愛嬌がある。素直さがある。

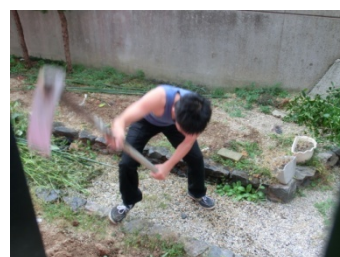
ダメ出しされても腐らずに、投げ出さずに、ふてくされずに
高校受験に向けて一生懸命頑張っていた。

結果、第一志望に見事合格した！

3年後、サトシもいよいよ進路を決める時期になった。
しばらく会っていなかったが、風のうわさで専門学校を受験すると聞いた。
溶接技術を取得して、モノづくりの道に進もうとしていた。

ちょうどその頃、太田東西が応援している
ダルクDARC（ドラッグ・アディクション・リハビリテーション・センター薬物依存症回復施設）
からバーベキューのお誘いが来た。
1枚3000円の券を買ってほしい・・・お誘いではなく「お願い」だった・・・
そこで6枚買ってあげた。いや、買わせてもらった。
食べ放題・飲み放題だったので、「元をとってやろう！」と思い次男坊のダチ
3人を呼んだ。そこにサトシもいた。

もちろん、高校生にチケットを売りつける
なんてことはしない。無料招待だ。
腹いっぱい食べさせてあげようと思い
出発前、庭の畑をサトシに耕させた。
ほんとうに素直ないい奴だ！



行楽の秋、10月。
海・砂浜を見ながらのバーベキューは
実に心地よかった。
ダルクのみんなも、薬物依存症とは
思えないくらい、きびきび行動していた。



お肉を焼いては、次々運んでくれて
素晴らしい「接客」だった。
彼らは元々は、真面目で優しい人間だと
改めて感じた。
優しすぎるからこそ、人間関係でストレスを抱え
薬物・アルコールに溺れていったんだ・・・



所長の中川氏とは
ダルク広報活動のために
ブログ用の写真をいくつか撮った。

中川&太田、このコンビ
身を捨てる覚悟だ・・・



満腹になった後、高校生4人はサッカーボールで遊びはじめた。その日は中川氏も家族連れで来ていた。そしていつしか、太田家の高校生チーム4人と中川家の小学生チームがゲームをしていた！



受験・就活のストレスをかかえる高校生には「いい気分転換になっているなあ〜」と、その光景を微笑ましく眺めていた。最初は遠慮していた小学生チームも、はげしく体当たりしてボールを奪いにいったり、言葉もきつくなってきた。いわゆる、『生意気なクソガキ』になっていた。

「コラッ！いいかげんにしろ！」手を焼いた高校生がマジで叱り飛ばした。しかし、小学生は夢中で遊ぶ。必然、怒った高校生はクソガキから離れる。



そんな中、サトシは違った！タックルされても、髪の毛を引っ張られても砂をかけられても、暴言を吐かれてもキレることなく、子ども目線で一緒に遊び続けた。

「サトシに、こんな一面があったのか！」不器用な男だと思っていたが、子ども扱いが実に器用で自然だった。

「こいつは間違いなく、いいお父さんになるな」
「保育士なんか向いているな」
帰りの車中、サトシの将来の事を考えていた。

それから1ヵ月後、サトシの受験結果が出た。結果は『不合格』しばらく静観していたが、進路は未定のままだったので、薬局に呼び出した。相談室で私はサトシに進言した。

「不合格は、その道に行くな！ということだよ。別の道があるということだ！おじさん、その道は、保育士だと思う！ どうだ？」

オルクとダルクが結んだ縁、サトシがつかんだ運

サトシは今春から保育士の道に進むことに決まった！

溶接はモノづくりで『モノ相手』

かたや、保育士は『人相手』

職種は全く違う。保育士は「コミュニケーション力」が必須だ。

サトシは言った。

「自分のことがよくわからないまま、仲間の多くが専門学校を受験するので自分も受けることにしました。おじさんに『保育士が向いている！』と言われてハッとしました。自分では子どもと遊ぶのが上手だと思っていませんでしたが、あのバーベキューの出来事を言われて、そう思えました。専門学校の試験、不合格になってよかったです！ ありがとうございます」

良縁の人 悪縁の人 運の良い人 運の悪い人

漢方相談を通じて、いろんな方々を見てきて思うことは
良縁な人、幸運な人というのは

「素直な人」「行動的な人」です。

思い込み、こだわりを持たずに とらわれずに

「そうかもしれない！」

自分の考えを切り替えられる柔軟性があります。

もし、サトシが素直でなかったら、バーベキューには招待していません。

もし、サトシにバーベキューに行ってみよう！という行動力がなかったら私は彼の「宝物」を発見できませんでした。

もし、サトシが頑固で強情だったら「保育士」という進路の方向転換は難しかったですでしょう。

幸せに生きて行くためには
学力や知識だけでは不十分です。

それ以上に必要なものは

「人間性」「行動力」。

人に好かれる、人にかわいがられる

「素直な行動」です。

